

令和8年度 草津市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日時	令和8年8月31日(月) 午前9時41分から午前10時00分まで
開催場所	庁議室
出席者	辻川副市長、南川副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(草津未来研究所・経営戦略担当)兼環境経済部理事(立命館イノベーションシニアコーディネーター)、危機管理監、総務部長兼法令遵守監、まちづくり協働部長、環境経済部長兼上下水道部理事(農業集落排水処理施設跡地担当)、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康都市づくり・地域共生社会推進担当)兼こども若者部理事(こどもの居場所づくり担当)、こども若者部長、特命監(都市戦略担当)兼都市計画部長、都市計画総括副部長(都市計画部理事(交通・開発担当)代理)建設部技監、建設部長、建設部理事(河川・公園緑地担当)兼上下水道部理事(雨水整備事業担当)、上下水道部長、教育部長、教育部理事(生涯学習・スポーツ推進・図書館担当)、教育部理事(学校教育担当)、監査委員事務局長
欠席者	議会事務局長
議事概要	下記のとおり

1. 案 件

(1) 令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業について

【審議案件】

【事務局より論点整理資料に基づき説明】

- ・第3期草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第6次草津市総合計画の第2期基本計画と一体的に、令和7年度から令和10年度を計画期間として策定した。
- ・第6次草津市総合計画期間中には、人口減少局面を迎えることが見込まれていることから、今後、より一層の地方創生の取組を進めていく必要がある。
- ・令和7年度に実施した交付金活用事業について、外部有識者から「事業の評価」を受けるにあたり、7月30日に開催の幹事会を経て、本日の本部会議にて本市の評価について検証をいただきたいと考えている。
- ・対象となる事業は、『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』と『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業』である。
- ・各事業の実績について『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』は 174, 680, 000円で、『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業』は 177, 840, 000円。
- ・交付金の額は、『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』が実績額の2分の1の 87, 340, 000円で、『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業』も同じく実績額の2分の1の88, 920, 000円。
- ・「事業概要および事業内容」は、記載のとおり。
- ・『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』の重要業績評価指標(KPI)について、(1)「山田学区の人口」は、令和6年度の現状値から比べ、令和7年度の目標値5人の減少に対して、実績値は19人の減少、(2)「コミュニティビジネスによる収入増」は、新センターの供用開始が令和8年9月1日の予定であることから、目標値0円に対して、実績値0円、(3)「山田まちづくりセンターの利用者数」は、目標値の2人の増加に対して、実績値2, 596人の減少。
- ・『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業』の重要業績評価指標(KPI)について

(1)「矢倉学区の人口」は、年間約70人減少している矢倉学区の人口減少数が供用開始年度の翌年度以降10人ずつ増加に転じるとしており、目標値0人に対して、実績値88人の増加、(2)「センターの利用者数」は、目標値0人に対して、実績値371人の増加、(3)「センターにおけるイベント参加者数」は、目標値0人に対して、実績値224人の増加。

- ・事業効果としては、当該プロジェクトについては、供用開始が山田まちづくりセンターは令和8年9月1日、矢倉まちづくりセンターは令和9年3月1日からであることから、「整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合」に該当するため、事業効果については、「効果の有無はまだわからない」としている。
- ・今後の方針は、供用開始に向けて、引き続き建設を進めていくことから、「事業の継続」としている。
- ・草津市の総合戦略自体の効果検証については、第2期の総合戦略より総合計画と一体的に策定していることから、総合計画の基本目標ごとに設定されたベンチマークの報告により、総合戦略の評価を行っていただいている。

【主な質疑・意見】

なし。

【結論】

審議了とする。

(2)地域未来交付金(地域未来推進型)事業について【報告案件】

【事務局より資料2に基づき説明】

- ・令和8年度は、令和7年度まで実施していた「新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)」が「地域未来交付金(地域未来推進型)」に名称を変更し、内容については、地域特性等を最大限に生かし、地場産業の付加価値向上を通じて、地方の暮らしの安定を実現し、「強い経済」の構築を支援する制度設計である。
- ・今年度の交付金対象事業は、『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』、『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業』、『「道の駅」活用・リニューアル&防災拠点化プロジェクト』、『「鉄道を起点としたツーリズム促進プロジェクト」と『人と企業が交わる、魅力と活力のあふれるまち推進プロジェクト～スタートアップを核とした地域版イノベーション・エコシステムの構築～』の5事業である。
- ・『「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』については、予算額が274,753,000円で交付金は2分の1の137,376,000円。KPIは、①山田学区の人口、②コミュニティビジネスによる収入増、③山田まちづくりセンターの利用者数を設定している。
- ・『「美しい心と活気のあるまち・矢倉」』については、予算額306,332,000円で交付金は2分の1の153,166,000円。KPIは、①矢倉学区の人口、②センターの利用者数、③センターにおけるイベント参加者数を設定している。
- ・『「道の駅」活用・リニューアル&防災拠点化プロジェクト』については、予算額が23,857,000円で交付金は2分の1の11,928,000円。KPIは、①地域における観光消費額、②道の駅「草津」における入込客数、③道の駅「草津」における売上高を設定している。
- ・『「鉄道を起点としたツーリズム促進プロジェクト」』については、予算額が17,520,000円で交付金は2分の1の8,760,000円。KPIは、①観光消費額、②延べ宿泊者数、③JR在来線の利用者数(1日の乗車人数)を設定している。

・『人と企業が交わる、魅力と活力のあふれるまち推進プロジェクト～スタートアップを核とした地域版イノベーション・エコシステムの構築～』については、予算額が17,312,000円で交付金は2分の1の8,656,000円。KPIは、①法人市民税納税義務者数、②市内(GIC・BKC インキュベータ)に活動拠点を置くスタートアップ等(起業予定を含む)の者数、③市が関与して実施した実証実験等の件数、④マッチングイベントの参加者数を設定している。

・当該事業については、効果検証、評価を令和9年度以降にしたうえで、国への報告をする予定である。

【主な質疑・意見】

なし

(3) 令和7年度草津市企業版ふるさと納税について【報告案件】

【事務局より論点整理資料に基づき説明】

- ・事業者が、寄附を通じて地方の活性化を応援する制度で、地方公共団体による「地方創生プロジェクト」に寄附をされた場合、税制上の優遇措置が受けられるというものである。
- ・令和7年度の実績は、資料記載のとおり。

【主な質疑・意見】

・資料に記載されている並びはどのような順番なのか。

⇒寄附をいただいた順で記載をしている。

以上

このページのお問い合わせ

概要作成担当	草津市 総合政策部 企画調整課 企画調整係
電話	077-561-2320
ファックス	077-561-2489
メール	kikaku@city.kusatsu.lg.jp